

# 第2ブロック研究部



NO.7

令和6・7年度 研究主題

自分の思いを表現する楽しさを味わう幼児を育てる  
～かいたり、つくったりする中で～

研究園 管南 滝川 中大淀 桜宮 西野田 貫江田 海老江西  
今里 東 小橋 北中道 東中本 旭東 鯰江 城東 榎本

第1回 研究部会 令和7年5月21日（水）場所 大阪市立桜宮幼稚園

## 1年目の取組と2年目の方向性について

### 1年目の取組

研究主題の「自分の思いを表現する楽しさを味わう幼児」の姿とは、「伸び伸びと表現する姿」「夢中になる姿」「繰り返し遊ぶ姿」などであること、教師は作品のできばえではなく、表現する過程を大切にすることを共通理解した。

実践記録については、「幼児が表現することを楽しんでいる姿」を、「教師の働きかけがあり、安心して表現することを楽しむ」「素材に触れたことから表現することを楽しむ」「経験したことから表現することを楽しむ」「必要性があって表現することを楽しむ」「友達から刺激を受けたり、友達と一緒に目的をもつたりして、表現することを楽しむ」の5つに分類し、[教師の教育的意図をもった働きかけ]や[環境] [気付いたこと]などを分析した。

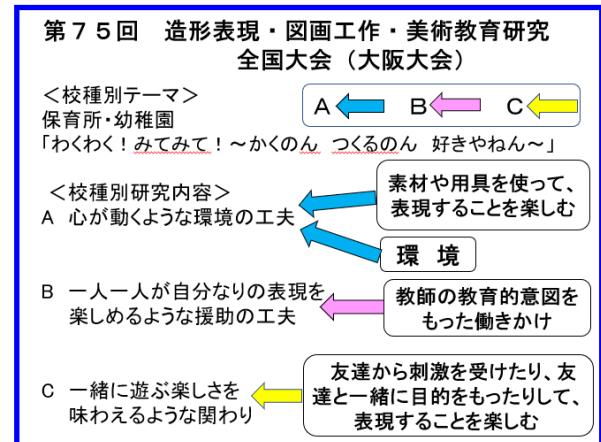


### 2年目の方向性

2年目は、「幼児が表現することを楽しんでいる姿」を「教師の働きかけがあり安心して表現することを楽しむ」「素材や用具を使って表現することを楽しむ」「友達から刺激を受けたり、友達と一緒に目的をもつたりして、表現することを楽しむ」の3点にまとめて分析を深める。

この3点は、第75回 造形表現・図画工作・美術教育研究大会（大阪大会）校種別研究テーマ「わくわく！みてみて！～かくのん つくるのん 好きやねん～」の校種別研究内容「A 心が動くような環境の工夫」「B 一人一人が自分なりの表現を楽しめるような援助の工夫」「C 一緒に遊ぶ楽しさを味わえるような関わり」と共通する。

実践記録には、「幼児が表現することを楽しんでいる姿」に加えて「わくわく！みてみて！」と記載し、「心の動き」に下線を引き「心の動き」を読みとる。また「素材や用具を使って、表現することを楽しむ」は、校種別研究内容のAとつながる。Bは「教師の教育的意図をもった働きかけ」、Cは「友達から刺激を受けたり、友達と一緒に目的をもったりして表現することを楽しむ」とつながる。これまでの研究をまとめ、全国大会で実践報告する。



## 講話：「今年度の研究の取組に向けて」

大阪市教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 指導主事

### ○ 研究の意義・目的

- 教師一人一人の指導力が高まること
- 園全体のチームワークが高まること
- 幼児一人一人が大切な力を身に付け、育つこと

幼稚園教育要領にも、「育ち合いを重視した教育の充実」が示されている。

### ○表現の意義・目的

- 自己理解を深めること
- 他者理解を育むこと
- 創造性をのばすこと

小学校学習指導要領図画工作科では、「造形的な見方・考え方」として、「造形遊びをする活動を通して」が目標とされており、低学年においては、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮することと明記されている。第2ブロックの第2ブロックの研究テーマは、幼稚園から小学校へとつながる「学びの連続性」の中に位置付けられる。



## ○今年度の研究について

今年度の研究は、継承と深化である。1年目の研究を継承しながら、分析の視点を5つから3つに絞るなど、より深めながら研究を進めていく。

### 「安心して表現することを楽しむ」

常に意識して行っているが、あえて表記することが大切である。小学校学習指導要領 図画工作科の指導のポイント「全体的に“広く”見ることが大切」「特に“場所”にこだわることが大切」にも関わる。

- ・ どういうことが行われたか、児童1人1人の気付きや工夫を見守り、励ます。
- ・ 指示的になりすぎて児童の発想の幅を狭めないように注意する。
- ・ 学校内の環境を教師が見つめ直し、児童が資質・能力をより発揮できそうな場所を普段から探しておく。
- ・ 作品の完成する段階で声かけして、どんな工夫をしたかを拾っていく。

### 「素材や用具を使って表現することを楽しむ」

小学校学習指導要領 身に付けたい力を「柱」としてまとめたものに、「材料や用具に十分に慣れる」という目標が全学年に挙げられている。

低学年の具体的な発問のイメージでは、「この材料でどんなことができるかな」という発問から授業をしていく。「自然物（土や粘土・木の葉や水など）」「人工物（紙・空き箱・縄・紐・布・紙袋・お道具箱の中身など）」子どもたちが材料に触れながらどんなものをつくっていくのかを考える。

「素材や用具を使って・・・」は、小学校教育にもつながっている。

### 「友達から刺激を受けたり、友達と一緒に目的をもったりして表現することを楽しむ」

幼稚園教育要領の「育ち合いを重視した教育の充実」につながる。

今年度の研究が、幼児がかいたり、つくったりして表現することを楽しむ過程を3点にまとめることによって、より深く、実りある研究になることを期待する。

## ○感想・学んだこと

1年目の取組を振り返るとともに2年目の方向性について部員全体で共通理解することができた。講話では、研究の意義や目的、表現の意義や目的について学び、研究に取り組む大きさを改めて感じた。

小学校学習指導要領の図画工作科について話を伺い、本研究が幼稚園から小学校以後への学びにつながることを知った。学んだことを心に留め、研究を深めていきたい。